

## 令和6年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

|               |                                  |
|---------------|----------------------------------|
| 事業名           | 塩の道古道 コンテンツ強化事業                  |
| 事業主体<br>(連絡先) | 一般社団法人小谷村観光連盟 Tel 0261-82-2233   |
| 事業区分          | ア 特色ある観光地づくり                     |
| 事業タイプ         | ソフト                              |
| 総事業費          | 1,611,940 円 (うち支援金: 1,223,000 円) |

## 事業内容

地域の住民にとっては、誇りあるこの古道を“もっと多くの方々に利用してもらいたい”という想いがあり、歩くことを軸としつつも、それに付随する「着る」「聞く」という新たなコンテンツの幅を創出することで、インバウンドを見据えた利用者増やリピート化を図る。

## ・塩の道衣装等レンタル事業

宿泊施設にて衣装のレンタルサービスや塩の道に関する簡単な案内を実施。

## ・音声解説等事業 日本語、英語、繁体語、簡体語、韓国語

村内8か所のデジタルサイネージ、22か所の宿泊施設およびスキー場等へ表示。

## 活動写真



## 事業効果

## ①塩の道衣装等レンタル事業

・本コンテンツによって新たな客層へのアプローチはもちろん、塩の道にエンターテインメント性が加わり、来訪者自らがSNS等で発信し、集客につながることを期待できる。

## ②音声解説等事業

・QRコードから簡単にアクセスでき、多言語対応もしているため、観光案内所等では説明が簡単になった。現地での活用はもちろん海外への誘客事業のツールとしても活用が期待できる。

## 【 目標・ねらい 】

- ① 現衣装数でのレンタルを通じ、お客様の反応を観察し、必要に応じて衣装数を追加発注し、村内協力店も増やしていく。
- ② ①と同様に反応、需要を観察し、別コースでの整備も検討する

## 今後の取り組み

## ① 塩の道衣装等レンタル事業

来年度の塩の道祭りを皮切りに本格的に衣装レンタルを開始し、SNSやホームページなどで発信。塩の道にいにしえの風景を「着る」「見る」というコンテンツを加えることで、観光資源としての付加価値を高めていきたい。

## ② 音声解説等事業

雪どけのタイミングで塩の道沿いの案内板等へ表示し、実際に歩きながらその場で解説を聞けるようにする。音声ガイドの視聴数など解析を取り入れ、お客様の動向など分析。また、別コースでの整備も検討していく。海外発信におけるツールのひとつとしても利用したい。

## ※自己評価【 C 】

## 【理由】

・村内関係者や常連のお客様から「面白い取り組みで体験してみたい」など高い評価をいただいた。しかし衣装選定や塩の道関係者との調整に時間を要し、スケジュールが後ろ倒しになり、反省点も多分あった。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある